

第1回 NDMHS 体育祭 実施！

3月15日(金)、記念すべき第1回体育祭を、実施致しました。本号では、その様子をお伝えしたいと思います。

バングラデシュでの体育祭は個人戦・個人表彰が主流なのですが、私たちの体育祭はクラス対抗戦としました。その目的は、「集団の中の個としての自覚を持ち、連帯感を実感し、協調性を育む」ためです。

子どもたちは自分のクラスに貢献したいと、暑い中、一生懸命競技を行いました。

生徒の保護者、Basic Development Partners (BDP) スタッフ、BDP 小学校の先生方、郁文館夢学園の教員数名にご参加頂き、0から始めた体育祭を、会場にいた全員でつくり、楽しむことができました。



応援にも力が入ります



勝利を喜び先生に駆け寄る生徒



障害物競走



長縄跳び



320mリレー
思いっきり走り抜けました

体育祭のプログラムは、次の通りでした。

- 1) ラジオ体操、2) 80m 走、3) ドッジボール、4) 教員リレー、
- 5) 障害物競争(写真 3)、6) 長縄飛び(写真 4)、7) 320m リレー(写真 5)

バングラデシュでは、自分のクラスを応援するという考え方は珍しいとのことですが、クラス担任の先生も、この日ばかりは生徒と交じっての応援合戦。競技は終始白熱しました。(写真 1)

自分のクラスが競技で勝利した瞬間などは、生徒たちと担任の先生が歩み寄り、勝利の喜びを共有するシーン(写真 2)も見られるなど、企画した私たちも感動の瞬間を共有できました。生徒たち、教員たちが一体となる、感動の体育祭でした。

体育祭以降の学校生活では、それまで欠席しがちだった生徒が学校に休まず来るなど、クラス活動にも明らかな変化が見られるほど、体育祭の影響は大きく、大成功だったと言えると思います。



あっという間の一日でした
郁文館の教職員にもご参加いただきました



先生も生徒もみんなよく頑張りました
おつかれさまでした

健康診断の様子

3月23日(土)に、国際エンジェル協会が運営する病院の協力を得て、NDMHSの生徒たちに健康診断を行いました。バングラデシュでは、金銭的な問題で病院に行かないという人も多い状況があります。生徒の疾病の有無、発育状況を把握するため、一年に一回実施します。



身長測定



血液検査



問診もします